

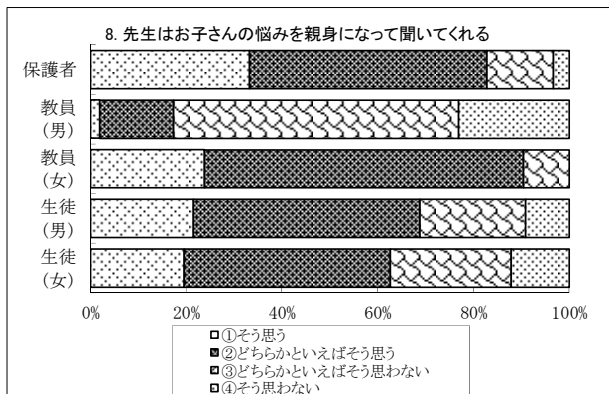
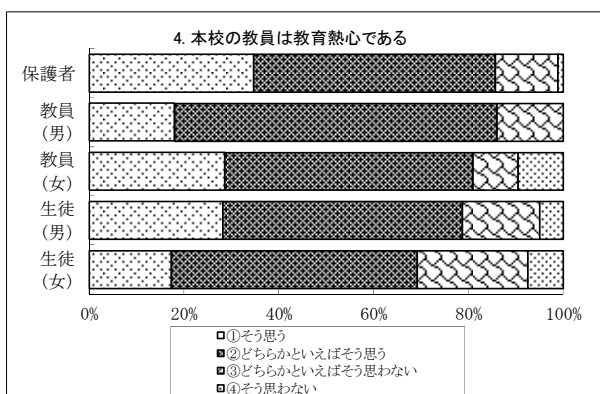
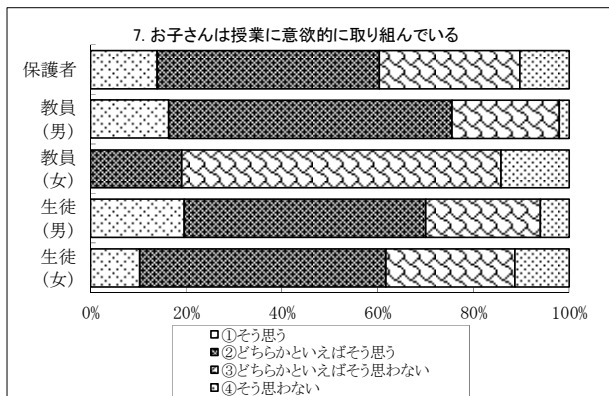
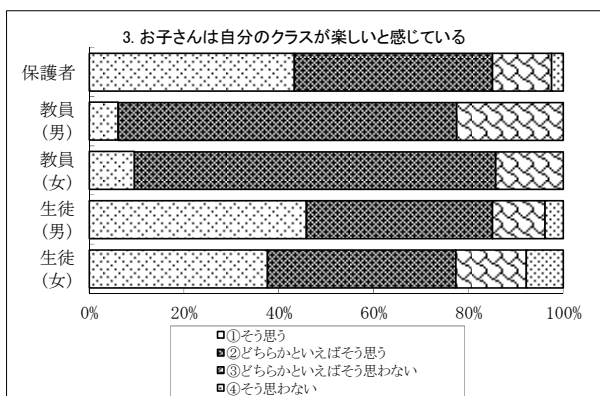
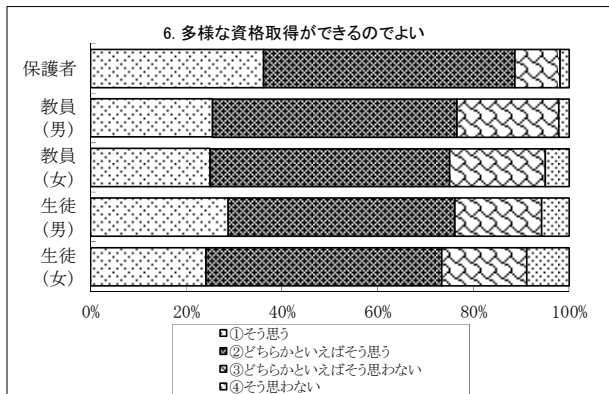
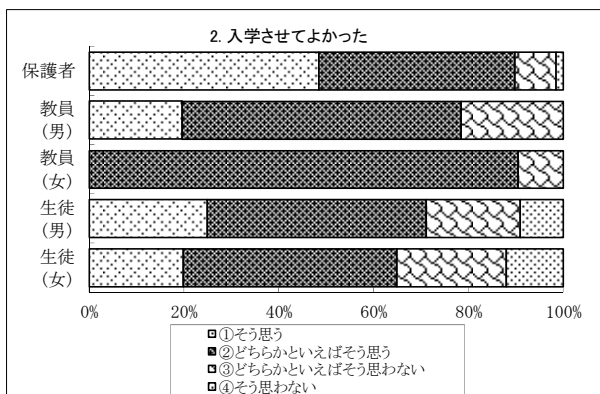
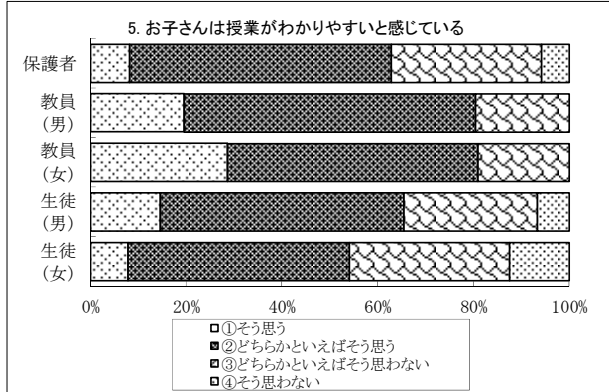
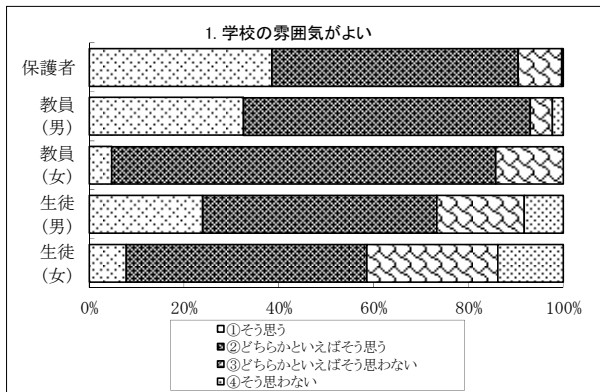
平成25年度 『学校評価』 アンケート結果

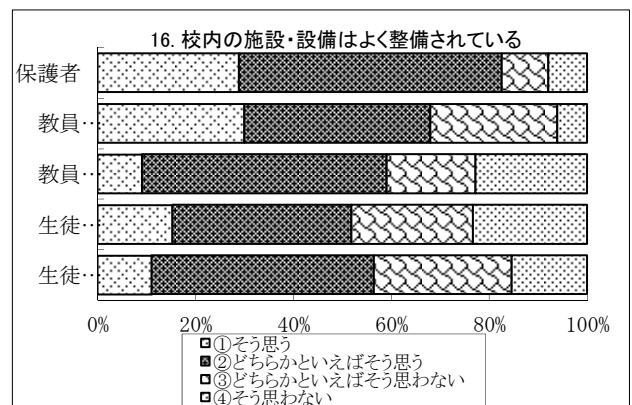
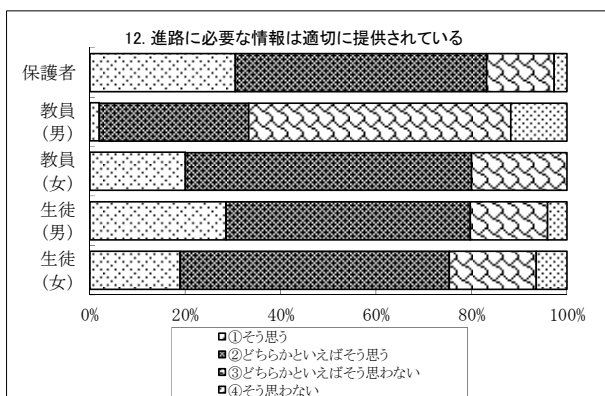
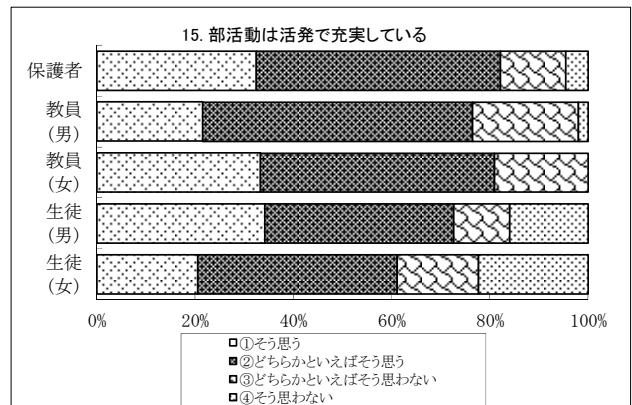
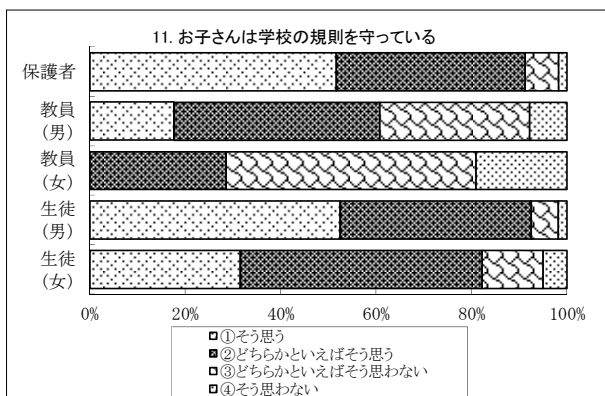
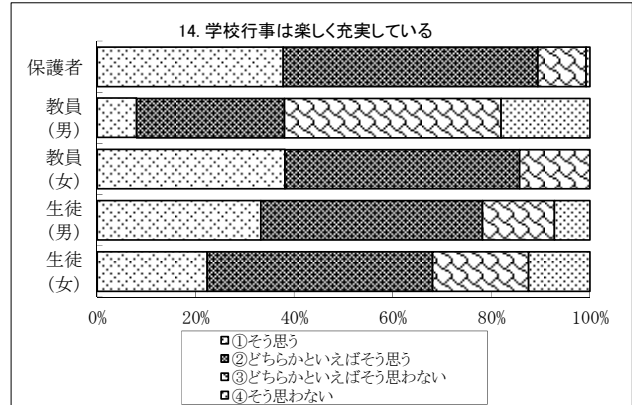
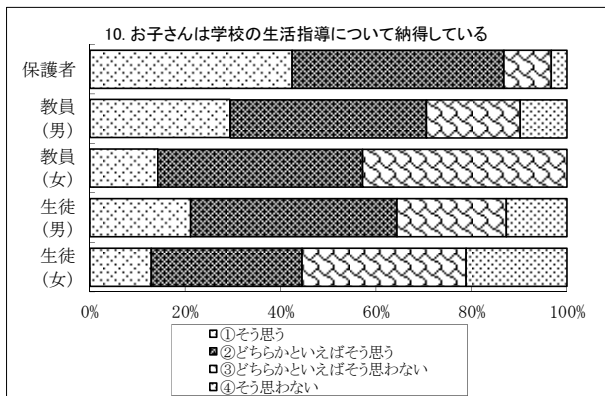
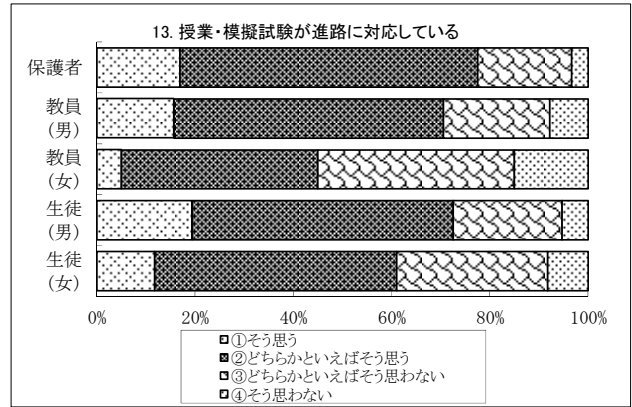
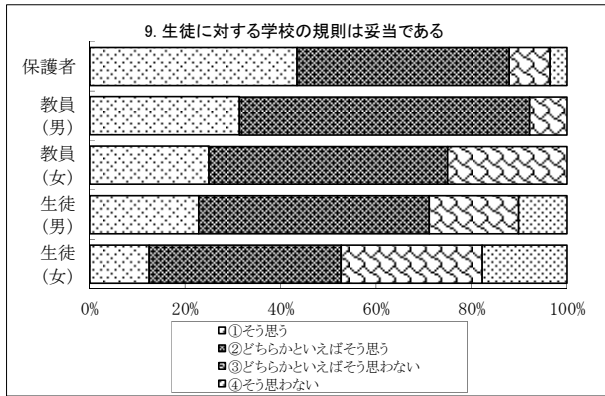
(資料) 学校評価アンケート内容

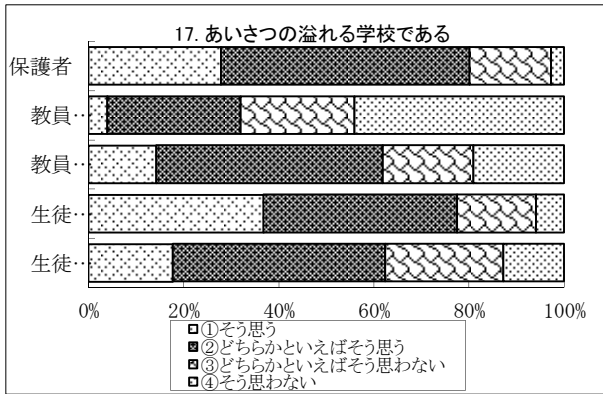
〈 保護者用：生徒用・教員用は同じ内容で表現のみ異なる 〉

1. 学校の雰囲気が良い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (高校生活全体)
2. 入学させてよかった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (高校生活全体)
3. お子さんは自分のクラスが楽しいと感じている・・・・・・・・ (高校生活全体)
4. 本校の教員は教育熱心である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (高校生活全体)
5. お子さんは授業がわかりやすいと感じている・・・・・・・・・・ (学習)
6. 多様な資格修得ができるのでよい・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (学習)
7. お子さんは授業に意欲的に取り組んでいる・・・・・・・・・・ (学習)
8. 先生はお子さんの悩みを親身になって聞いてくれる・・・・ (生活指導)
9. 生徒に対する学校の規則は妥当である・・・・・・・・・・・・ (生活指導)
10. お子さんは学校の生活指導について納得している・・・・ (生活指導)
11. お子さんは学校の規則を守っている・・・・・・・・・・・・ (生活指導)
12. 進路に必要な情報は適切に提供されている・・・・・・・・・・ (進路指導)
13. 授業・模擬試験が進路に対応している・・・・・・・・・・・・ (進路指導)
14. 学校行事は楽しく充実している・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (行事)
15. 部活動は活発で充実している・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (行事)
16. 校内の施設・設備はよく整備されている・・・・・・・・・・ (その他)
17. あいさつの溢れる学校である・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (その他)

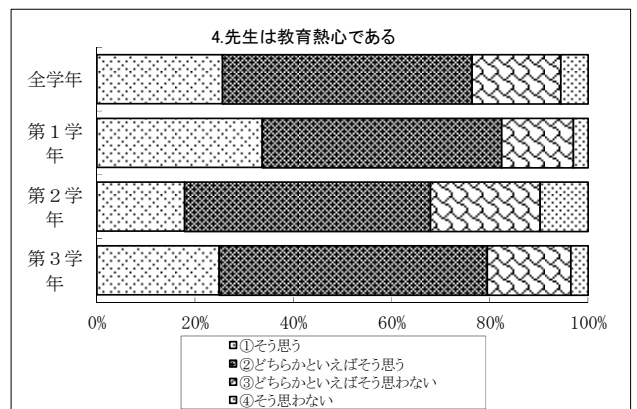
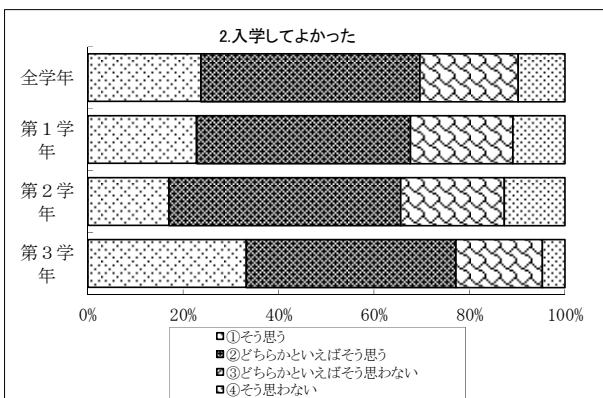
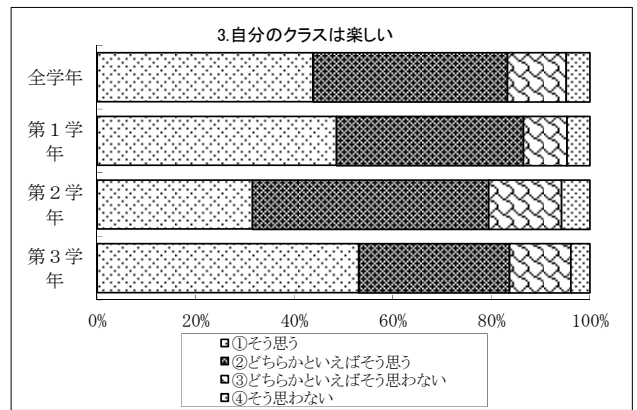
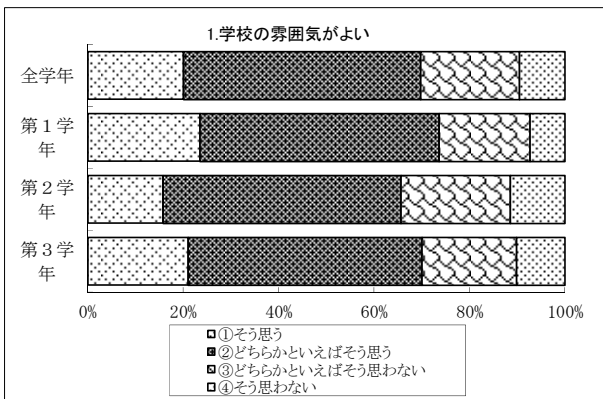
3者比較（設問は、保護者向けのアンケート項目を使用しています）

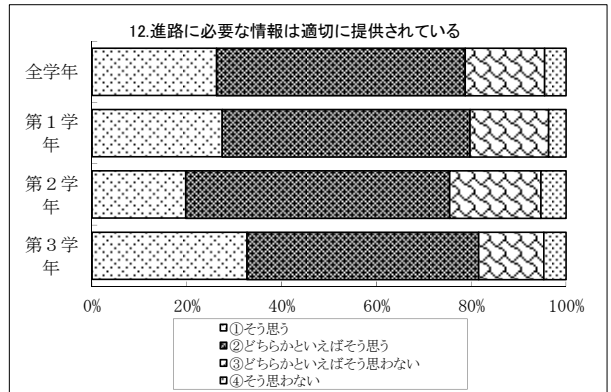
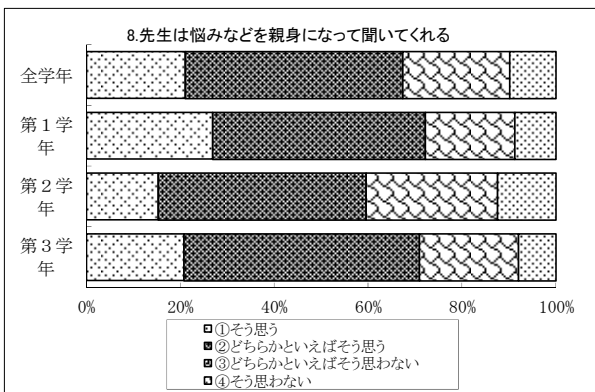
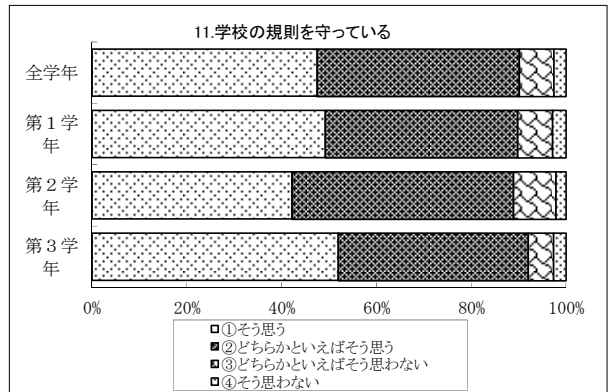
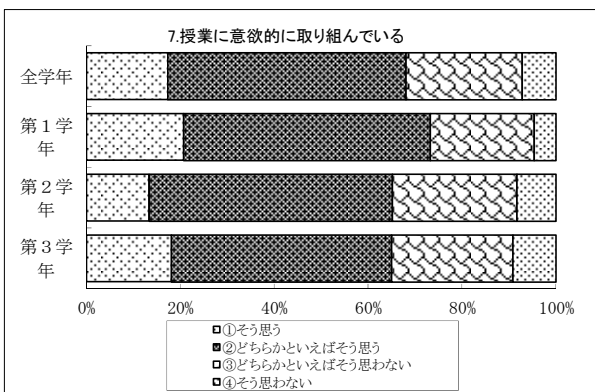
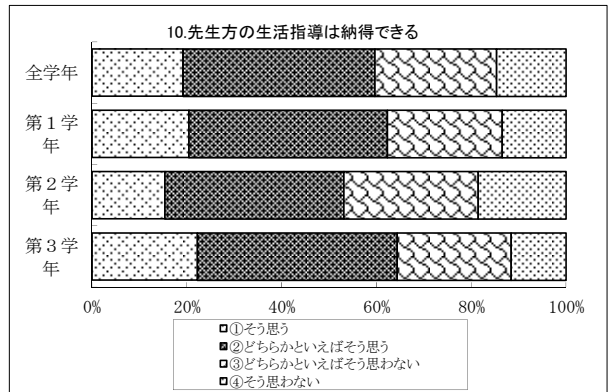
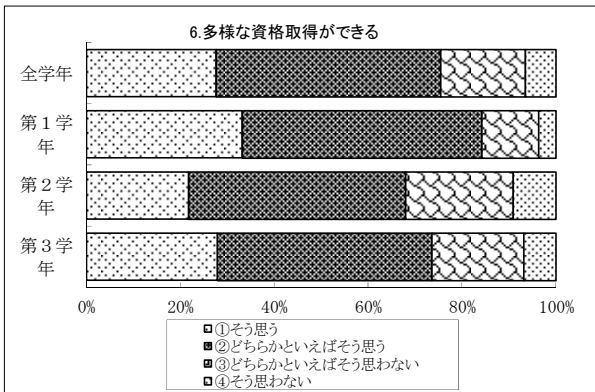
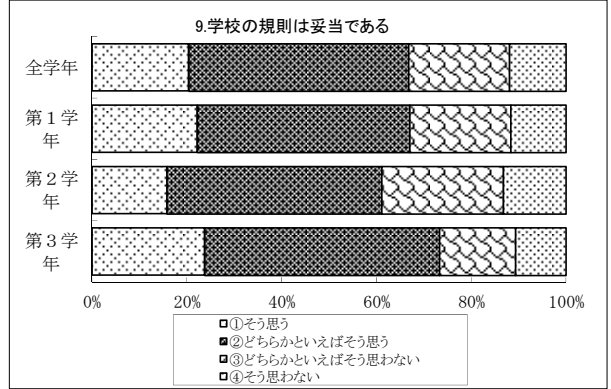
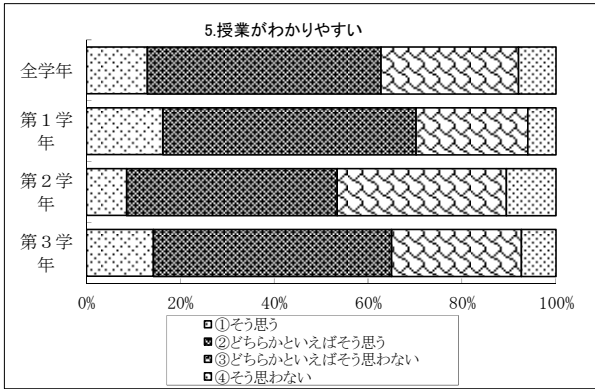


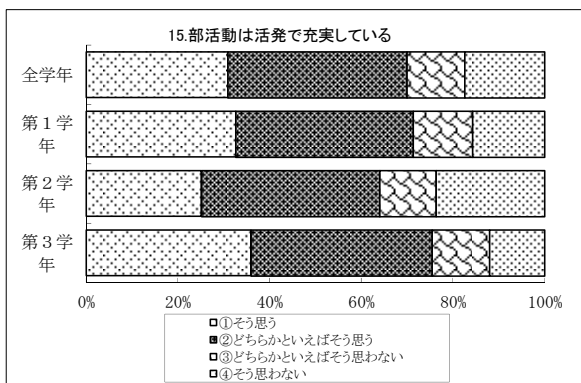
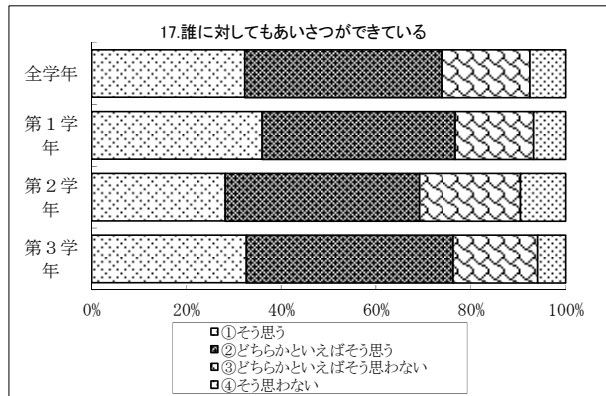
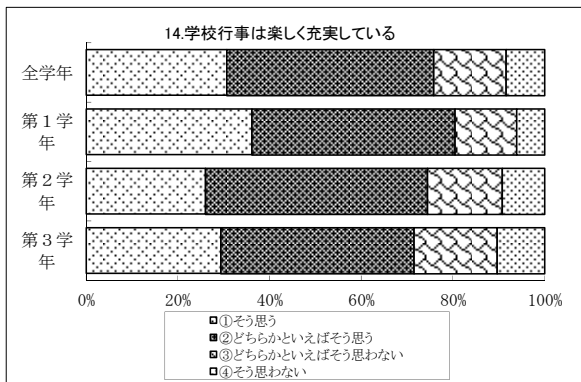
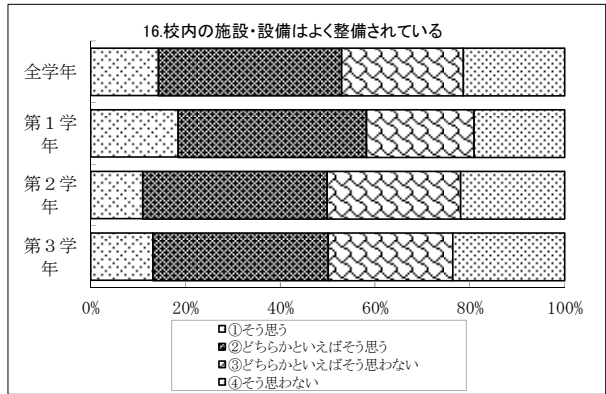
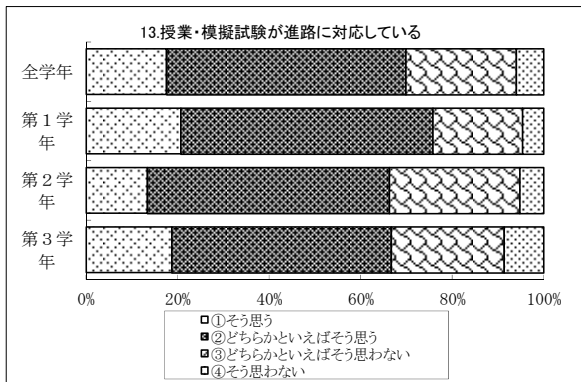




生徒用アンケート







学校評価委員会議録

1. 構成メンバー

商大高校(教員) 堀井、小西、小松、阪口、唐崎、中井芳
(生徒) 生徒自治役員
PTA 酒見、可児、重松
*学識経験者(大阪商業大学教職員)・地域代表は不参加

2. 意見交換

- ・学校長挨拶
- ・平成25年度、「学校評価」、「学校評価、資料」について、阪口より説明の上、『学校評価』、『教員・保護者・生徒アンケート』について意見を述べてもらった。

(説明) 〈学校評価について〉

- ・今年度の学校の重点目標とそれに対する達成度、又生徒の意識を
1. 学習面 2. 生活指導面
3. 進路指導面 4. その他 の項目で説明を行う。

〈生徒・教員アンケート結果について〉

- ・学習への取り組みの強化
- ・職員の多忙化、生徒の学習意欲に関しての教員の意識
- ・生活指導面での生徒・教員間のギャップ
- ・進路指導の強化
- ・学校行事の充実(女子生徒の影響・貢献)
- ・女子生徒が活躍できるクラブが少ない
- ・クラブ生徒の設備に対する不満

〈保護者アンケート結果について〉

- ・わかりやすい授業への認識と更なる要望
- ・生活指導の強化
- ・進路情報の充実への要望
- ・学校への苦情は依然としてある。地域の人々に頑張っている生徒を認めてもらえるような取り組み

〈まとめ〉

- ・懇談会やクラス便りなどでは担任の力量任せになっている・・・保護者に不公平感がある
- 学校全体での取り組みの必要性
- ・生活指導面で、学年・担任・教員による指導の差を感じている生徒もいる
- ・学習方法の更なる研究・工夫が必要。楽しい授業＝わかる授業(生徒参加型)
- ・クラブ関係で施設や専門性のある教員の不足などに依然として生徒は不満を感じている
- ・学校行事や校内外の研修で、教員の仕事量が増加

行事を含め仕事の厳選、削減の可能性は

*学校評価・アンケート結果の説明には特に質問等はなく、参加者から疑問や意見を述べてもらう。

(意見)

- ・熱心に指導していただいていると感じているが、一部先生方の良くない話も聞く。(あまり授業が分からない・熱心さを感じない等) 現状はどうか。
 - 何かご意見があれば、その都度話を聞き、対応させてもらっている。ただ、100名もいる教員が同じ意識であるとは言い難い。常に声掛けはしている。それは生徒に対しても同様である。
- ・現役で国公立への合格者が出たと聞いている。何か取り組みがあったのか？
 - デザイン美術コースで2名の合格者を出すことができた。コースの3年間の取り組みをしっかりと検証し、データの蓄積をして他コースにも広げていきたい。小さいが今後につながる、繋げなければならない大切な一歩だと考えている。
- ・近年クラブの良い話をあまり聞かない。どうなっているのか？
 - 学習とともに、特別教育活動としてクラブ活動も大切なものと考えている。ゴルフ部は今年度も全国大会に出場して活躍してくれた。他クラブも地道に活動を続け実績を上げている。生徒たちが自分の学校に誇りを持つ一つの要因としてクラブの活躍があると考え。設備等の充実をはかり、応援していきたい。保護者の方の応援もありがたい。又、女子クラブの増設は急務だと考えている。
- ・地域からの苦情があり、理解が得られていないのは何故？そんなに生徒のマナーは駄目なのか？
クラブ生徒が行っている地域清掃は効果がないのか。
 - 苦情の多くは通学途上のマナーについてである。苦情の対象はほんの一部の生徒である。生活指導部中心に、遅刻指導・生活指導週間等での授業中を含むマナー指導に全教員で指導に当たっている。押しえつける指導でなく、粘り強く対話を続け、諭す指導に力を注いでいる。長い目で見て協力していただきたい。
- ・いい学校だと思います。子供は楽しいと言っている。感謝している。その声が大多数であると思うが、少数の意見を軽んじないで欲しい。苦しんでいる保護者・生徒はいるはず。
 - 理解している。そのような声を聞くためにも学校評価、アンケートの必要性を感じている。又、この様な会議もとても大切である。何かあれば、いつでも開きたい。上記の校長の発言で会議を終了する。

*より良い学校・生徒の充実した学校生活の為に協力体制の必要性を再認識できた会議であった。

*しかし、生徒自治会の生徒にとっては大人に囲まれ、積極的に発言できる雰囲気を作ることが出来なかった。生徒に更に発言しやすい環境を作ることが来年度の課題として残る。